

この国の記憶

長野重一・写真の仕事



《魚屋のこども 東京》1949年（作家蔵）

2000年
6月27日(火) ▶ 9月3日(日)
東京都写真美術館
2階展示室



主催＝東京都／東京都写真美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会
協賛＝花王株式会社／コニカ株式会社／株式会社ニコン
協力＝岩波映像株式会社／光村印刷株式会社

観覧料 [映像工芸館展覧料を含む]＝一般 500(400)円／小・中・高校生250(200)円
()内は20名以上の団体料金。
65歳以上、お体に障害をお持ちの方とその介護者1名は無料。
開館時間＝午前10時～午後6時(木・金は午後8時まで)。入館は閉館の30分前
休館日＝毎週月曜日
交通機関＝JR恵比寿駅東口から徒歩約7分(恵比寿ガーデンプレイス内)

東京都写真美術館では木村伊兵衛、林忠彦、渡辺義雄をはじめ、今世紀の写真史に残る優れた作品を残した写真家たちの足跡をたどり、その魅力的な世界を紹介してまいりました。その第7回目となる平成12年度作家個展は、ドキュメンタリー写真家・長野重一を紹介します。

1925(大正14)年、大分に生まれた長野重一は慶應義塾大学卒業後、名取洋之助の誘いで『週刊サンニクス』『岩波写真文庫』の刊行に携わり、本格的に写真の世界に飛び込みました。1954(昭和29)年、フリーになってからは、切れ味鋭い映像表現と鮮明な問題意識で、カメラ雑誌を中心に優れたルポルタージュ写真を発表。あくまでも個の視点にこだわるフォトジャーナリストとして新たな領域を切り拓き、『新しいドキュメンタリー』『フォト・エッセイストの登場』と高い評価を得ました。

本展覧会は、戦後の混乱を抜け出し、高度成長を選んだわが国の光と影を写した代表作『ドリームエイジ』をはじめ、古きよき時代の面影を残す日本各地の風俗とそこに生きづく人びと、長野が愛してやまない東京の街並み、そして戦禍の傷あとを残す旧東西ベルリンを生々しくとらえた『ベルリン東と西と』『香港』など、カメラとともに長野が駆け抜けた激動の戦後史を代表作254点で振り返ります。また、80年代以降からライフワークとしてバブルをむかえ、変化に揺れ動く東京に再びカメラを向けた『遠い視線』『東京好日』は、成熟した穏やかなまなざしを注いだスナップショットとして多くのファンを獲得、75歳をむかえた現在でも活発な創作活動を続けています。本展ではシリーズ最新作もあわせて紹介します。芳醇なモノクロームの写真が語りかけるこの国の記憶を、この機会にぜひお楽しみください。



長野重一氏近影

長野重一(ながの・しげいち) 1925(大正14)年、大分県大分市生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、週刊サンニクス、岩波写真文庫を経て1954年からフリー。カメラ雑誌、総合雑誌を中心に作品を発表、ドキュメンタリー写真に独自の分野を切り拓く。写真集に『ドリームエイジ』『遠い視線』『時代の記憶1945-1995』他多数。カメラ芸術大賞、日本写真批評家協会作家賞(1960年)、日本写真協会年度賞(1991・1995年)、紫綬褒章(1993年)、勲四等旭日小綬章(1998年)。

講演会のご案内

対談 「長野重一・写真の仕事」
講師＝谷川俊太郎(詩人)・長野重一(写真家)
日時＝7月23日(日)午後3時～5時
会場＝東京都写真美術館 1階ホール
(入場無料・先着200名)

関連上映会

長野重一撮影による映像作品を上映します
(入場料は展覧会観覧料に含まれます)
各回午後2時より／先着200名
協力＝岩波映像株式会社
プログラムA
7月1日(土)／7月9日(日)／8月12日(土)
『彼女と彼』羽仁進監督
(ベルリン国際映画祭特別賞受賞作品、
1963年、113分、モノクロ)
プログラムB
7月2日(日)／7月30日(日)／8月13日(日)
『出雲がく』『黒島の踊り』『津軽のいたこ』
『黄八丈』(1958年、各19分、モノクロ)
『keihin 66』(1966年、10分、カラー)

フロア・レクチャー

会期中、毎月第2・4金曜午後2時より担当
学芸員による展示解説を行います。
(7月14日・8月25日は長野氏によるレクチャー)



《5時のサラリーマン 東京 丸の内》1959年(東京都写真美術館蔵)



《東京好日》より 東京 佃 1991年(作家蔵)



《強制収容所 旧東ドイツ プツヒェンヴァルト》1960年(東京都写真美術館蔵)



《お化け煙突 東京 千住》1951年(作家蔵)



《銀ブラ 東京 銀座》1951年(作家蔵)



《原爆ドームの見える町 広島》1952年(作家蔵)



《石油化学工場の落成式 川崎》1961年(東京都写真美術館蔵)

東京都写真美術館
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 03(3280)0031
URL <http://www.tokyo-photo-museum.or.jp>
NTT ハローダイヤル 03(3272)8600
交通機関＝JR恵比寿駅東口より徒歩約7分(恵比寿ガーデンプレイス内)



しなやかな発想

<http://www.j-infonet.com/tcp/>

ときらめく感性。



■資料請求先 Tel.045-563-3077 Fax.045-563-2050

TOKYO COLLEGE OF PHOTOGRAPHY(Higher Education of Japan)

東京総合写真専門学校

〒223-0051 横浜市港北区箕輪町 2-2-32